

点字ディスプレイドライバ API 仕様書

概要

点字ディスプレイドライバ API は、点字ディスプレイドライバを介して点字ディスプレイを操作する機能を提供します。

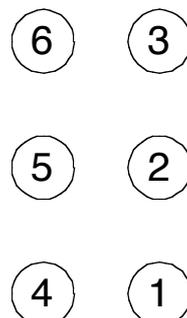
リクエスト仕様

点字ディスプレイへの点字表示リクエストは、HTTP プロトコルによるソケット通信にて行います。点字ディスプレイドライバは TCP 1800 番ポートを使用してリクエスト要求を待ち受けます。

このポートに対してリクエスト文字列を送信することで、点字ディスプレイの表示を操作することが可能です。

リクエスト文字列では、表示するドットパターンを点字 1 文字ごとに 6 個の「0」または「1」の組み合わせで指定します。

右下の点から左上の点の順に、凸点を表示する場合は「1」を、凸点を表示しない場合は「0」を、それぞれ指定します。例えば、右図 1, 2, 3, 4 の場所に凸点を表示する場合「111100」となります。



2 文字以上の点字を指定する場合は、直前のビットパターン文字列との間にアンダースコア () を挿入します。

表示する点字の長さが点字ディスプレイが表示可能な最大文字数に満たない場合は、空白 (000000) で満たされます。

リクエスト例

(例1) `GET /000001 HTTP/1.0`

点字ディスプレイに「あ」を表示します。

(例2) `GET /111100_011010 HTTP/1.0`

点字ディスプレイに「0」(数符+ろ)を表示します。

(例3) `GET /000000 HTTP/1.0`

点字ディスプレイの表示をクリアします。

レスポンス仕様

点字ディスプレイドライバは、リクエストに対して 1×1 ピクセルの GIF 画像データを返答します。

ブラウザからの点字ディスプレイの表示制御

HTML 文書に `` タグ等で制御命令を埋め込み、ブラウザから点字ディスプレイを操作することが可能です。

この時、URL には「`http://localhost:1800/(点字ドットパターン文字列)`」を指定します。

例えば、以下のタグを HTML 文書に記述することで、点字ディスプレイに「てんじ」と表示させることが可能です。

```

```